

令和6年度(2024年度) 熊本県教育功労(優秀教職員)表彰 候補者功績一覧

【教職員】 マスター部門(49歳以上)

No.	氏名	学校名	職名	主たる功績分野	功績の概要
1	井上 万里	宇土市立宇土小学校	教諭	学習指導	●国語科を中心とした優れた指導力 児童が「問い」や疑問、目的意識をもち、主体的・意欲的に学ぶ授業を展開している。令和5、6年度、宇城教育事務所の学力向上ワーキング・グループのメンバーとして授業開発や公開授業を行い、宇城管内の授業改善の取組の推進に貢献している。学級経営においては、児童一人一人の思いに寄り添いながら、互いを尊重し高め合う学級づくりを行っている。平成23年度管内教育論文「心の居場所となる学級づくりの工夫」特選、平成29年度県小学校国語教育研究会で代表授業、平成22、25、28年度県人権教育研究大会でレポート発表など、国語教育や学級経営、人権教育の充実に貢献してきた。
2	野間口 広美	菊陽町立菊陽中部小学校	指導教諭	学習指導	●スーパーティーチャー(社会科)に優れた指導力 長年、社会科の教科研究に取り組み、地域素材を教材化した優れた実践を数多く残している。平成20年に県社会科教育研究会大会での提案授業を行い、「社会科教育学会」では6年生社会で児童と取り組んだ「豊後街道について調べよう」の実践が評価され熊本代表として発表を行った。教育実践をまとめ、数多く教育論文に応募しており、令和5年度に6年生社会で取り組んだ実践研究は、菊陽町教育論文で「教育長賞」を受賞した。指導教諭として、管内外の学校訪問の指導・助言をはじめ、県内の教職員の社会科授業づくりの相談に応えたり、積極的に社会科の授業を公開したりしている。
3	永田 ムツミ	甲佐町立乙女小学校	教諭	特別活動	●えがおでつながる学校づくり 一人一人への深い児童理解の下、児童や家庭に寄り添い課題に応じた支援や指導を徹底している。指導上困難さが見られた高学年学級を担当し、学級内のトラブルを激減させ、学級が学校のリーダーとなる意識を持つまでに変容させた。学級指導と児童会活動とを関連付け、変容した児童のリーダーシップにより、「えがおでつながる」をキーワードにした児童会スローガンが学校全体に広まり、異学年間のつながりが深くなった。また、職員の模範となり、リーダーシップを発揮することで信頼を得ている。豊かな人権感覚の下、職員をつなぎ、若手教員をはじめ人材育成にも大きく貢献している。
4	橋本 祥子	八代市立太田郷小学校	指導教諭	学習指導	●スーパーティーチャー(算数科)としての優れた指導力 学校では、教育課題を的確に把握し、授業を通して教育課題の解決に向けて取り組んでいる。校内研修では、自らの授業を積極的に公開し、授業を通じた集団の育成等について職員に助言や示唆を与えている。令和5年度には、県のスーパーティーチャーとなり、八代教育事務所の事業である算数科指導セミナーにおいて、管内の教職員に対して算数科の指導について講話・演習を行い、授業力の向上に寄与した。また、管外の教育委員会等からの依頼を受け研修会等で講師を務め、若手教師を対象に講話等を行い参加者の算数科授業力向上に貢献している。
5	寺川 芳夫	芦北町立佐敷小学校	指導教諭	学習指導	●スーパーティーチャー(国語科)としての優れた指導力 令和2年度に指導教諭に任命され、他校の校内研修、各種研修会において講師として活躍し、地域における国語科教育の充実に努めている。特に「児童の立場からの学習計画」と「教師の立場からの指導計画」を組み合わせた二重構造の単元づくりの工夫について、幅広い知見から分かりやすい指導を他の教員に行っている。また、国語の学習に効果的にICT機器を活用する方法も具体的に研究を深めており、タブレットを用いた学び合い(協働学習)について充実した授業を行っている。
6	酒井 智美	相良村立相良南小学校	教諭	その他(初任者指導)	●初任者育成に優れた指導力 令和2、4、5年度は学年主任として、令和3年度は拠点校指導教員として、合計7人の初任者育成に継続的に関わり、初任者の学級経営力及び授業力の向上に尽力した。自身の学級経営や授業実践を基に、初任者の課題や悩みに寄り添い、主体的な成長を促す育成手法は、初任者の主体的な学びを促すだけでなく、教師としての確実な成長につながっている。校内の学力充実担当としても、全国学力・学習状況調査や県学力・学習状況調査の分析や対策の立案を行うとともに、自身の授業の積極的な公開等、学校全体の学力向上にも大きく寄与している。
7	立山 真一	玉名市立玉陵中学校	教諭	生徒指導	●生徒指導及び道徳教育に優れた指導力 教育に対する情熱や志を高く持ち、深い愛情を持って生徒に接する姿勢は他の模範的な存在である。これまでの生徒指導の経験等を生かし、生徒一人一人の活躍の場を設け、居場所のある学年・学級経営に取り組んでおり、生徒及び同僚教員、保護者、地域からの信頼も厚い。また、道徳科を中心とした道徳教育に力を入れており、「考え、議論する道徳」を目指した授業実践を重ねるとともに、学年、学級通信等を通して事後指導や家庭との連携・啓発に努めた。日常の学校生活においても人としてのあり方や生き方を生徒自ら考えさせる指導を行い、生徒の意識や行動の変容が著しい。

No.	氏名	学校名	職名	主たる 功績分野	功績の概要
8	山部 由美	小国町立小国 中学校	教諭	学習指導	●音楽科、学校の中核としての指導力 音楽の教員として阿蘇管内の音楽科の中心的な役割を果たしている。阿蘇教育事務所の学校訪問時の指導助言や、各校合唱コンクールの審査員、授業研究会時の助言者等、管内の音楽教育の発展に大きく貢献した。また、研究授業等も多く経験しており、中学校音楽はもちろん、人権教育の視点に立った音楽科の授業づくりや、小学校との乗り入れ授業、県立教育センター研究員としての授業づくりなど高い指導力を持っている。学校では教務主任として学校運営の中核的役割を果たすとともに、地域とともにある学校づくりに取り組み、生徒、保護者、地域から信頼も極めて厚い。
9	谷上 靖子	上天草市立大 矢野中学校	指導 教諭	学習指導	●スーパーティーチャー(国語科)としての優れた指導力 天草郡市中学校国語研究会の委員として、天草管内の中学校国語教育の研究の核となり、実践を重ねてきた。令和2年度から指導教諭となり、巡回型で天草管内のみならず、管外の学校にも出向き講話や指導助言を行い、国語科教育の充実のために寄与している。令和3年度には「熊本の学び」の公開授業を、令和4年度には「熊本の学び」わくわくサークルにおける実践発表を行った。令和5年度には天草教育事務所教科等指導力向上研修会の講師を、令和6年度には「授業力向上につなげる評価問題等開発委員」を務めている。
10	田嶋 隆文	熊本県立第二 高等学校	教諭	進路指導	●SSHの探究の過程をキャリア教育の充実につなげる取組 学年主任や進路指導主事の経験を生かして、生徒一人一人の適性を見出し、文部科学省指定の「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」事業で生徒の3年間の探究的な学びを充実させることで、進路実現につなげている。生徒への個別対応に加え、キャリア教育の視点を重視し、現状から一歩踏み出す意識改革に取り組んでいる。難関大学合格を視野に入れた教師の指導力向上のための入試問題研究会の実施や担任教師以外との面談実施、大学の研究室と連携した課題研究の充実や大学の魅力紹介の独自スライドの作成、独自の東京大学ツアーの実施などアイディアに溢れた取組を継続している。
11	山村 哲也	熊本県立熊本 工業高等学校	教諭	部活動指導	●部活動(ボクシング競技)における優れた指導力 初任以来、現在に至るまで一貫して部活動顧問としてボクシング競技に携わり続け、国体や全国インターハイにおいて優勝者や上位入賞者を数多く輩出してきた。過去の勤務校において指導した選手の中には、オリンピック2大会連続出場(2016年 リオデジャネイロ、2021年 東京)を果たすような世界レベルの活躍を見せた者もいる。自ずと周囲から頼られ応援してもらえる存在となるよう挨拶等の生活態度の指導を重視し、指導を受けた生徒は生徒会の中核で活躍するなど人間的成長も著しい。現在は県高等学校体育連盟ボクシング専門部専門委員長を務め、県全体を統括する立場にある。
12	吉田 浩幸	熊本県立苓北 支援学校	教諭	特別支援教育	●特別支援教育の推進、地域への理解啓発に係る取組 長年に渡り重度重複障がい教育に携わり、研究主任を務め実践研究や公開授業を推進する等、人材育成の中心的役割を担ってきた。前任の新設特別支援学校準備室では、指導主事として学校の経営構想の整理や運営体制の整備、校章募集・選考、校歌歌詞作成等、開校に向けての大きな役割を果たした。本校では学部主事として、新校舎移転準備・対応にリーダー的存在として尽力した。地元企業等の方をゲストティーチャーとして招いたり、児童生徒が地域施設の見学・利用を経験できるようにしたり、人と関わり合う喜びを通して個々の可能性や経験を広げる教育活動の充実・発展に導いた。

【教職員】 フレッシュ・キャリア部門(48歳以下)

No.	氏名	学校名	職名	主たる 功績分野	功績の概要
1	太田 優美	美里町立砥用 小学校	教諭	学習指導	●校内研修の充実及び授業改善に優れた指導力 研究主任として、校内研修への職員の主体的な参加及び協働的な取組の推進に向け、理論の提示、授業の提案等、積極的に行いリーダーシップを発揮している。全職員で取り組むシステムや雰囲気をつくり、職員との良好な関係を構築するとともに、職員の授業改善への意識を高めている。管内の教育論文で、個人でも、研究主任としても特選を複数回受賞し、各種研究会等で代表として質の高い授業を公開している。卓越した指導力と深い児童理解で、児童一人一人の学力の定着及び伸長と児童間の良好な人間関係の構築に成果をあげており、児童と保護者からの信頼も厚い。
2	樫原 泰史	南関町立南関 第二小学校	指導 教諭	学習指導	●スーパーティーチャー(ICT教育、校内研究)としての優れた指導力 映像制作を競うキッド・ウィットネス・ニュース(KWN)コンテストの小学生部門に毎年出品し、日本一や3位に輝いた実績をあげている。授業におけるICTの活用や、CBT(タブレットを使用した試験方式)を効果的に利用して個別最適な学びを推進させている。近隣の学校にも講師として赴き、ICT教育の活性化に貢献しており、教職員の働き方改革にもつながっている。令和4年度は南関町教育委員会学力向上推進校の研究主任として、すぐれたリーダーシップを発揮した。その後も研究主任を継続し、取組の検証を常に行うPDCAサイクルがしっかりと機能する研究組織体系ができあがっている。
3	志賀 貴美代	西原村立山西 小学校	教諭	学習指導	●特別支援教育・学習指導を中心に優れた指導力 特別支援教育では、難聴学級担任として、平成27年度に児童発達支援センター研修で実践報告を務め、熊本県難聴・言語障がい研究会では国語科学習指導の実践発表を行うなど、難聴学級に関する保護者の理解促進と実践的指導力の向上に寄与した。また、県人権教育研究大会での2回にわたる実践報告や、県学校図書館研究大会の学校図書館づくり部会における実践報告、令和4、5年度「熊本の学び」研究指定地域事業研究発表会での算数科の公開授業など、自らの研究実践内容を広く提供・提案することで、熊本県教育の充実と質の向上に寄与してきた。
4	三宅 恵美	西原村立河原 小学校	教諭	学習指導	●学習指導及び研究主任としての優れた指導力 国語科を中心に高い学習指導力を持ち、令和4・5年度の県教育委員会指定の「熊本の学び」地域指定では、研究主任として細かく気を配り、全職員で取り組むことができるよう研究をリードした。年度初めに率先して提案授業を行い、方向性を示し共通理解を図った。また、研究発表会に向けて授業者を支え、授業づくりの支援を積極的に行った。授業者の思いに寄り添いながらアイデアを出したり、サポートチームを組織したりなど校内体制を整えたことにより、授業者以外の職員の研修も充実した。常に自分の学級授業を公開し、全職員で取り組む方向性を示す姿勢は、若手の手本となっている。
5	本田 美幸	嘉島町立嘉島 西小学校	教諭	学習指導	●生きる力の育成及び後輩教員の育成に優れた指導力 「自分で考える力」「行動に移す力」を大切に学級経営に取り組み、児童の発達段階に応じた主体的な学習を積極的に行っており、ICT機器の活用や家庭との連携で効果を増幅させている。さらに、明朗な人柄から学校のムードメーカー的存在であり、後輩教員と良好な信頼関係の中で自分が身に付けた授業のスキルを惜しむことなく伝えたり、「教員としてやるべきこと」を伝えたりと、常に人材育成を意識している。専門の図工や道徳を中心に、研究発表会の授業者や上益城郡教科等研究会小学校図工部会の理事長等を任されるなど、地域全体のリーダーである。
6	守田 怜華	山都町立矢部 小学校	養護 教諭	健康教育	●健康教育や災害時の心のケア等に優れた指導力 不登校問題に対し、多様化・複雑化する児童や保護者の実態に寄り添い長年改善に努めており、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等と学校のつなぎ役として貢献している。熊本地震では、益城町の小学校で長期にわたって児童の心のケアに努めた。令和6年2月には、県学校支援チームの一員として、能登半島地震の被災地に出向き、児童や教職員の心のケアや学校再開に向けた支援を行った。令和4年度に上益城郡養護教諭部会部長、令和5年度に県養護教諭研究会理事を務め、地域の養護教諭の中心として研修の復講や若手養護教諭の人材育成に尽力している。
7	田中 ちひろ	人吉市立東間 小学校	教諭	学習指導	●高い授業力と研究主任としての優れたリーダーシップ 複式授業、英語、国語授業でのICT活用等に対して、積極的に研鑽を積み、高い専門性と確実な指導力を有している。研究主任として、若手をはじめ、中堅やベテラン教員に対しても積極的にアドバイスを行い、職員の授業力の向上に大きく寄与している。常に明るく前向きな言動で、同僚が相談しやすい雰囲気を持っており、親身になって関わっていることから職員の信頼も厚い。授業や学級経営でも、児童に主体性をもたせ、満足感・達成感を与える授業や、児童への優しさや厳しさのバランスの取れた指導ができおり、保護者の信頼も厚い。
8	金子 直美	苓北町立志岐 小学校	教諭	学習指導	●国語科指導に優れた教育実践と研究に貢献 県小学校国語教育研究会大会において、平成28年度に代表授業者、令和4年度に実践発表者を務め、県の国語科教育を牽引している。天草教育研究所国語部門の研究委員として3年目を迎え、その中心として運営全般を担い研究の深化を図っている。自主的研究団体である「天草国語教室の会」事務局として、高い研修意欲を持つ集団を束ね、国語教育の振興に寄与している。確かな研究理論の構築、先駆的な授業実践、外部学識者との連携等、大きな成果をあげている。令和5年度から研究主任を務めており、今年度は苓北町教育委員会指定の研究発表会を行う予定である。

No.	氏名	学校名	職名	主たる 功績分野	功績の概要
9	山本 樹慶	宇土市立鶴城 中学校	教諭	生徒指導	●生徒指導、学年経営に優れた指導力 管内外の赴任先で生徒指導主事等を務め、教育的愛情をもち、生徒及び保護者の立場に立った指導を行うことで、深い信頼関係を構築してきた。在籍校では、学年主任3年目を迎える学年職員一人一人に目を配り、気遣いのある言動で職員をまとめ、卓越した指導力で学年生徒全体を一つにまとめている。生徒指導等で課題が見られる生徒に対し、担任とともに親身にに関わり、生徒、保護者から絶大な信頼を得ている。名実共に学校の中堅として、自らの校務分掌のみならず、全体を見渡し積極的に学校運営に参画しており、将来、本県教育の中核を担う資質・能力を備えた貴重な人材である。
10	長松 優生子	宇土市立網田 中学校	教諭	地域連携	●生徒の主体性を引き出す優れた指導力 総合的な学習の時間の授業を中心に、「地元の柑橘類をつかったアイスの製作・販売」のプロジェクトの実現に向け、地域や様々な職業の方との連携や関連機関との細かい打ち合わせを行い、生徒が自ら考え活動する場を設定し、主体性を引き出す指導を行った。3年間で掛けてプロジェクトを成功に導いた。また、国語科の指導においては、自分で調べたことや考えたことを伝え合い、意見を深める話し合い活動の充実を図り、子供が主体となる授業実践に取り組んでいる。さらに、授業で学習したことを日常生活に活用したり、各種コンクールなどへ応募したりと学びをつなぐ取組を行っている。
11	高岡 良一	宇城市立不知 火中学校	教諭	学習指導	●基本的資質と専門性に基づいた優れた実践力 教務主任として教育課程等の立案や連絡調整、企画委員会の運営、若手教諭への指導・助言等を意欲的に行っている。職員からの信頼も厚く、教科指導においては、社会科担当としてICT機器の活用、独自のワークシート作成等、分かりやすい授業を展開しており、手本となる存在である。日頃の丁寧な取組の成果は学力調査にも見られ、1、2年の社会科が本校で唯一、県・市の平均を上回るか同等の結果を残した。1年部副主任、卓球部顧問として、生徒への教育的愛情をもった指導により、保護者からも深い信頼を集め、生徒指導においても学校全体に寄与している。
12	前田 健一	大津町立大津 北中学校	教諭	人権教育	●人権教育を根幹とした実践・指導力 採用以来、人権教育を教育実践の根幹に据え誠実に教育実践を続け、学校教育の充実・発展に大きく寄与してきた。部落差別の解消に関わる取組を核とした人権教育の推進により、全ての人権問題について、問題解決の主体者となる生徒の育成に尽力した。差別を見抜き差別に反対する学級づくりを行い、その取組を公開授業研究会等で発表することで教職員の指導力向上にも大きく貢献した。令和5年度県人権教育研究大会において実践報告を行い、本年度は、全国人権・同和教育研究大会で実践レポート報告を予定している。
13	中野 裕大	大津町立大津 中学校	教諭	学習指導	●数学科を中心とした優れた指導力 令和2・3年度県教育委員会「熊本の学び」キャリア教育研究指定時の特別活動主任として優れたリーダーシップを発揮し、研究組織をまとめ、生徒が主体となって将来のキャリア形成に取り組む教育実践を推進した。令和2年度より菊池郡市教科等研究会中学校数学科部会の理事として菊池郡市の数学科会をまとめており、令和4年度中学校数学科教育研究会菊池大会で中心的に研究を推進し発表するなど、菊池郡市だけでなく、本県の数学教育を牽引している。中堅教員として、学習指導、生活指導、部活動などにおいて献身的に活動しており、若手教師の模範となっている。
14	越猪 淳	合志市立西合 志中学校	教諭	部活動	●生徒指導と部活動運営に優れた指導力 生徒のやる気を引き出す実践的指導力に優れ、学校の生徒指導の核になり、令和5年度は2年学年主任、令和6年度は3年学年主任として学級担任を支えている。また、部活動の指導にも熱心であり、生徒や保護者からの信頼も厚く、令和5年度県中学総体夏季大会のバレーボール競技で優勝に導くだけでなく、部活動を通して、「人間づくり」を大切にしている。マネジメント力が高く、菊池郡市のバレーボール中学部理事長、中学校保健体育研究会理事長を務めるなど学校内外に目を向けた実践が多く見られ、学校全体の組織活性化にもつながっている。
15	廣瀬 崇行	八代市立第一 中学校	主幹 教諭	生徒指導	●生徒指導と若手人材育成に優れた指導力 令和2年度から生徒指導主事を担当し、令和2・3年度県教育委員会指定「熊本の学び」研究指定校事業の「学力向上プロジェクト研究」を受け、『「学びに向かう力」を備えた子どもの育成」を研究主題に取り組んだ。生徒指導部と研究推進委員会と連携し、授業改善、学び合いの時間の創設、質問コーナーや自学コーナーの設置などの取組により、不適切な言動で授業を妨害する生徒や不登校生徒数が減少するなどの大きな改善が見られた。また、若く経験の浅い教員を集め、定期的に学習会を主催することで、若手の人材育成にも貢献している。
16	出口 友理恵	津奈木町立津 奈木中学校	養護 教諭	健康教育	●養護教諭として不登校や生徒指導対応に優れた指導力 小中学校に勤務した経験と自己研鑽による豊富な知識をもとに、不登校生徒及びその傾向のある生徒、保護者への的確な対応や関係機関との連携を行い、より良い方向に導いている。また、悩みを抱えたり課題が見られたりする生徒には、学級担任と連携して昼休みや放課後等に教育相談や家庭訪問を行っている。令和5年度スクールカウンセラー活用事業連絡協議会において、「心身の健康の保持増進に向けた保健教育の工夫～SCと連携して学校全体で取り組むストレスマネジメント～」と題して発表を行うなど、芦北管内の養護教諭の専門性の向上に貢献している。

No.	氏名	学校名	職名	主たる 功績分野	功績の概要
17	福本 優子	天草市立御所 浦中学校	養護 教諭	健康教育	●様々な視点からの指導・支援を通じての児童生徒の育成 日頃から、子ども一人一人に寄り添った指導を行ない、子どもがよりよい生活習慣や運動習慣を身に付ける取組などを、養護教諭の視点から全教職員の意識を一つにし、学校全体で研究を進めてきた。本校に勤務してからは、今後島を離れて暮らすであろう子どもたちに、新しい環境になってもそこで出会った人たちとよりよい関係を築けるように、ソーシャルスキルトレーニングを中心として、個々のコミュニケーション能力の育成に取り組んでいる。平成29年度より天草市教育委員会主催「天草市教育論文」に7年連続応募し、令和元年度及び5年度に最優秀賞を受賞している。
18	岸谷 祐太郎	上天草市立 龍ヶ岳中学校	教諭	学習指導	●社会科教育・起業家教育に優れた指導力 令和2年度から2年間、上天草市「生きる力事業」研究指定校の研究主任・授業者として、優れたリーダーシップを発揮した。また、令和3年度県中学校社会科教育研究大会の授業者として、提案授業を行い、社会科教育の発展に寄与した。さらに、九州中学校社会科教育研究大会熊本大会で研究発表を行い、参加者に提案することができ、社会科教育の主導的な役割を果たした。上天草市で実践している「起業家教育」において、本校の実践を幅広く紹介し、先進的な取組を展開してきた。令和6年度は「くまもとGIGAスクールプロジェクト指定校」授業提案者として公開授業を公開した。
19	辻 渚	熊本県立玉名 工業高等学校	実習 教師	学習指導	●工業化学科を中心とした優れた指導力 初任から「高校生ものづくりコンテスト化学分析部門」で優秀な成績をあげることを目指して生徒を指導し、県大会では令和5・6年度に金賞、令和5年度全国大会で熊本県初の優勝を果たし、文部科学大臣賞を受賞した。試案による化学分析などの繊細な技術や考察する能力などの基礎基本を身に付けさせるとともに、実験による変化の楽しさや達成感を与える指導を行っている。ICT機器を駆使したり、大学教授に指導を仰ぎスキルを磨いたりすることで、生徒の個性を引き出し、課題を見つける力・課題を解決する力を育てており、生徒が化学系の大学や化学分析を専門とする企業に進むなど、日本の化学産業を支える人材を輩出している。
20	大野 美伸	熊本県立甲佐 高等学校	教諭	特別活動	●生徒会活動の指導による学校の活性化と魅力化の推進 生徒会担当として生徒が主体的、協働的に取り組むよう指導を行いながら体育大会、オープンスクール、文化祭などの学校行事を企画・推進した。この継続により、生徒会活動がより活性化し、生徒が高校生活に大きな満足感を持つようになった。また、敷地を同じくする松橋西支援学校高等部上益城分教室の生徒と共同で実施する体育大会、文化祭、対面式は、両校の生徒の心の交流を深めた。不登校や学力不足、コミュニケーション力の低さなど課題を抱える生徒が生徒会に入り、高校で見違えるような生活を送る事例も多い。生徒会活動は本校の魅力推進の大きな柱となり入学者が7年ぶりに増加する結果にもつながっている。
21	山下 辰徳	熊本県立八代 工業高等学校	教諭	関係機関連 携	●産学官連携による人材育成における優れたマネジメント力 令和3年度から3年間、文部科学省指定「マイスター・ハイスクール事業」の研究主査を務め、県産業界で活躍できる産業人材（創造的エンジニア）の育成に向け「X（融合）につながるデジタル技術の活用力の習得」などに取り組み、県産業界等と連携した産業人材育成のカリキュラム開発、相互協働による産業人材育成システムの構築・推進に貢献した。特に、全学科で生徒の最先端デジタル技術の活用力習得のため、産業実務家教員（現場の技術者）の授業を実施し、現場の技術者と対話を深めながら先端技術だけではなくマネジメントの手法も体感させる現場のリアルな授業実現を支援し、生徒だけでなく教職員に企業マインドを浸透させた。
22	久野 雅己	熊本県立天草 拓心高等学校 （本渡校舎）	教諭	学習指導	●商業科教育に優れた指導力 アクティブラーニングやICTを活用し、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業を実践している。令和5年度第15回全国商業教育指導者研究会ワークショップ実践報告において優秀賞を受賞した。また、商業研究部顧問として、各種資格取得に優れた指導力を発揮し、令和5年度税理士試験の会計学2科目や合格率1割程度といわれる日商簿記1級にも合格者を出した。令和6年度第40回全国高等学校簿記競技熊本県大会において個人の部優勝、団体の部準優勝に導いた。熊本県商業科教育における貢献度は非常に高く、リーダー的存在の1人である。

【教職員組織】

No.	教職員組織名	構成員所属学校名	主たる功績分野	功績の概要
1	合志市立西合志南小学校教職員一同	合志市立西合志南小学校	学校の活性化	●職員が互いに学び合う研修の場「まなVIVA！！」 令和5年度から自主的な研修の場として2名の教諭が計画・運営しており、講師も聞き手も全て本校職員で、中堅・ベテランが主に講師になっている。講師となる職員それぞれの得意分野にしたがって研修テーマが決められ、実践や基本的事項の講義をもとに参加職員が議論している。若手職員にとってはベテランの実践に学ぶ場であり、中堅・ベテラン職員にとっては講師を依頼されることによって自分の強みを意識し、人に教えることによってさらに強みを伸ばすきっかけにもなっている。令和5年度に20回開催した研修は「まなVIVA！！」通信によって、全職員で共有されている。
2	大津町立室小学校特別支援教育部	大津町立室小学校	特別支援教育	●児童がよりよく生きるための自立活動への取組 特別支援学級担任の経験年数が大きく異なる中で、多様な実態のある児童に、どのように自立活動の指導を行えば児童が自らよりよく生きていこうとする意欲を培うことができるのか考え取り組んできた。担任研修をこまめに行い、自立活動の取組を各学級間で共有したり、指導の改善に向けて助言をし合ったりすることで力量を高めてきた。個別や集団での指導、支援学級の合同学習など、個々の児童の実態に即した指導や多様性を基盤とした活動を行ってきた結果、児童一人一人が自分の良いところや課題に気づき、自分自身を見つめる力が向上している。
3	高森町教育研究会特別支援教育部会	高森町立高森中央小学校 高森町立高森中学校 高森町立高森東学園 義務教育学校	特別支援教育	●特別支援教育推進のためのICTの活用と自立活動の充実 教師による効果的なICT活用を通して授業改善や教職員間の連携強化を行い、町の特別支援教育の推進を図っている。また、自立活動を充実させるために、町独自の目標設定シートを作成することで、児童生徒をより深く理解することにつながっている。さらに、特別支援教育推進についての理解・啓発リーフレット「たかもりの虹」を特別支援教育部会で作成し、保護者のみならず保育園や幼稚園そして療育施設等の福祉施設にもリーフレットの重要性や活用方法などを発信し普及・啓発を行っている。
4	人吉球磨理科教育研究会	人吉球磨管内小・中・義務教育学校理科担当者及び理科免許保有者	その他(理科研究)	●半世紀以上にわたる活動と管内理科教育の推進 昭和30年代から現在まで継続して活動を行っており、管内の理科教育の推進に重要な役割を担ってきた。年2回の校種ごとの「理科授業研究会」の実施、夏季休業期間中の「理科実技研修会」の開催、毎年10月の「都市科学展・発明展」の開催をはじめ、昭和41年度から行っている芦北水俣地方科学教育研究会との「理科一日合同研修会」の実施など、多くの活動を現在まで継続して実施しており、管内を越えた理科教育に携わる教員の交流を行っている。理科教育に関する様々な活動を半世紀以上に渡り、継続して行っている教職員組織は、全国的にも大変貴重だと思われる。
5	熊本県立天草高等学校倉岳校職員一同	熊本県立天草高等学校倉岳校	地域連携	●「地域に根ざし地域に開かれた学校」としての連携・協働 本校では幼保小中高連携連絡会で取り組む「倉岳町幼保小中高18年間のこどもの見取り教育」をふまえ、生徒・職員共に「地域に根ざした」活動に取り組んでいる。生徒が福祉施設等との交流会で運営やレクリエーションの補助を担ったり、町の文化祭へ参画したりしている。また、本校文化祭では生徒会が小中学校の合唱クラブや地元の音楽団体を招聘したりするなど、相互交流を活発化した。職員も、中高合同防災避難訓練の企画や、平成28年から幼保小中高全児童生徒及び職員、地域住民も含めた大規模な清掃ボランティア活動である倉岳えびすビーチ清掃活動の企画・運営を担う等、「地域に根ざし地域に開かれた学校」づくりを推進している。